

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立東部特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	86人

1. 使用状況

寄贈物品名	水陸両用車いす（モビチェア）
使用学年及び人数	全学年(86人)、PTA
使用頻度	6月～8月
使用状況	<p>体育の「水泳」で使用した。水に慣れ親しむ経験が少ない児童生徒がモビチェアに乗ってプールに入った。</p> <p>夏休みにPTAの企画でプール開放を実施し、親子でモビチェアに乗ってプールに入った。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>水泳の授業で使用した。はじめのうちは緊張する姿が見られたが、沈まないことが分かるリラックスして乗ることができた。</p> <p>PTAの企画で、夏休みに学校のプールを開放した。障害があると近隣のプールや海に行くことに制限が生じ、水に入る経験が乏しくなってしまう傾向にある。学校のプールを利用することで親子でモビチェアに乗って入水できた。</p> <p>成人が乗っても沈まないため、医療的ケア児も安全に配慮しながら保護者と一緒にプールに入ることができた。</p> <p><保護者から> この夏初めてプール開放を行いました。授業でプールに入れず不安定な状態の生徒もモビチェアのおかげで安全にプールを楽しむことができました。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>安全に使用するための周知が必要である。</p> <p>①陸上で乗車してから水に入ること(水に浮いたままでは不安定である)</p> <p>②ベルトを着用すること</p> <p>③人に引っ張ってもらって水に入ること(自走式ではない)</p> <p>④水の中では、引っ張る人と、横で転覆防止を見守る人が必要であること</p> <p>今後は、水泳の指導だけでなく、通常の体育等でも活用できるような事例を示していきたい。</p>
その他希望や所感など	<p>寄贈いただき、ありがとうございました。児童生徒の経験の幅を広げられるように、PTAとともに活用させていただきます。</p>

2. 活用の様子



成人でもゆったり乗ることができる。
親子で乗っても浮くので、安心して乗ることができる。



<保護者のコメント>

この夏初めてプール開放を行いました。授業でプールに入れない気管切開している生徒もモビチェアのおかげで安全にプールを楽しむことができました。



水泳の授業で使用した。
はじめは緊張したが、慣れてくるとリラックスして乗ることができた。

夏休みにPTAで学校のプール開放を実施した。保護者やボランティアが参加し、参加者にモビチェアを使ってもらった。

